

第3章 中間評価

1 中間評価の目的

「健康かごしま21」に基づき、県、市町村及び関係機関・団体等が、県民の健康増進のための支援活動として、あるいは県民一人ひとりが自らの健康づくりとして、これまで何をしてきたか、その結果はどのようであったかを振り返ることによって、今後の健康づくり対策の推進に資する情報を得るため、中間評価を実施する。

2 中間評価の方法

評価は、「計画策定プロセス・推進体制の評価」(推進体制評価)、「目標達成のための取組状況の評価」(取組状況評価)、及び「目標値の達成状況の評価」(目標の達成度評価)について実施しました。

(1) 計画策定プロセス・推進体制の評価(推進体制評価)

計画策定・推進のための体制、関係機関・団体との連携、民間団体の参加を促す仕組の有無、住民参加の機会の確保、住民活動組織、ネットワーク、グループ等の組織資源の有無や変化、計画の周知、市町村計画の策定・推進の支援等について評価しました。

(2) 目標達成のための取組状況の評価(取組状況評価)

平成13年度から県、市町村及び健康関連機関・団体が県民の健康増進を支援するために取り組んできた活動等が、計画推進のための基盤的な整備につながったか、県及び関係団体間の連携協力及び役割分担が効果的に行われたかなど、その取組を評価しました。

(3) 目標値の達成状況の評価(目標の達成度評価)

栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、たばこ、アルコール、歯の健康、糖尿病、循環器病、がんの9領域の70項目106指標について、平成17年度に実施した「県民の生活習慣実態調査」等のデータから、目標値の達成状況を分析しました。

なお、目標項目が多数であるため、県民の健康度を計る上で重要であると思われるもの、目標達成度が高いもの、目標達成度が低いものについて主に取り上げ、補足データとして、老人保健法に基づく基本健康診査の結果等も活用しました。

なお、計画策定時と調査方法や対象が異なっている6指標については、評価の対象から除外することとしました。

3 中間評価の流れ

「健康かごしま21」のファーストステージ



現状把握のための各種調査

- ・ 県民の生活習慣実態調査
- ・ 栄養調査
- ・ 歯科保健実態調査（成人，3歳児，1歳6か月児）
- ・ 生徒の生活習慣調査（高校1・3年生，中学1・3年生）
- ・ 喫煙対策状況調査
- ・ ヘルシーメニューの提供に関する調査
- ・ 保健所，市町村及び関連機関・団体健康づくり事業活動状況調査



中間評価

計画の策定プロセス及び推進体制に関する評価 推進体制評価
計画の内容，策定プロセス，関係機関等との連携・推進体制等を評価

目標達成のための取組状況（活動状況）の評価 取組状況評価
9領域別に計画策定後に取り組んだ活動等を評価

目標値の達成状況の評価（現状値分析） 目標の達成度評価
9領域別に106の指標に関する現状値を分析

今後の推進の方向性

県民の健康課題



社会情勢の変化

「健康かごしま21」のセカンドステージ

4 中間評価の結果

(1) 計画策定プロセス及び推進体制の評価

「健康かごしま21」の計画策定プロセス及び推進体制の検証を、健康日本21評価手法検討会が作成した「評価表」を参考に行いました。その結果は、資料編の「計画策定プロセス・推進体制評価表」のとおりです。

なお、「健康かごしま21」は、県民及び県、市町村、関係機関・団体の健康づくりの指針として策定されているものの、行動計画についての評価方法を採用したため、～のような課題が出ています。

今後、具体的な推進を図るために、指針ではなく行動計画としての改定も検討していることから、あえて～も課題として取り上げました。

ア 課題

計画の策定後、推進体制の整備や関係機関・団体等の連携により、計画の普及啓発及び具体的な推進を図ってきましたが、計画の内容や推進体制等について、次のような課題がありました。

(ア) 計画策定プロセス

策定作業の時間が短い

住民代表の参加が少ない

目標を達成するための事業についての明確な記載がない。

住民や関係者ごとの役割が具体的に示されていない。

健康づくりを支援する環境整備についての記載が少なく、目標指標にも環境整備に関するものが少ない。(図8参照)

(イ) 計画推進体制

県民への計画の普及啓発を行ってきたものの、周知度が低い。

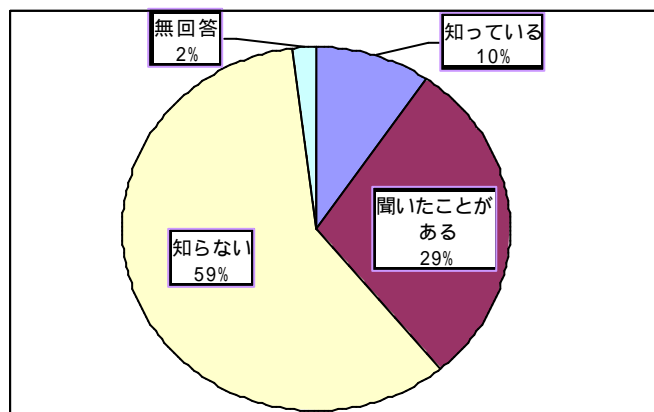
NPO等民間団体の活動状況の把握が不十分であり、民間団体との連携が一部に限られている。

「健康かごしま21推進協議会」や「健康かごしま21地域推進協議会」を設置し、関係機関・団体と推進方策について協議を行ってきたものの、具体的・効果的な連携が十分に図られなかった。また、専門部会の位置付け上、継続した分野別の専門的協議を行うことができなかった。

地域・職域連携の推進体制が未整備である。

企業との連携が不足している。

図5 「健康かごしま21」の周知度



「県民の生活習慣実態調査」結果から、県民の6割の人が「健康かごしま21」を知らないと答えており、周知度は低い状況である。

イ 今後の取組

中間評価の結果，明らかになった課題を踏まえ，今後の計画の改定及び推進には，次の取組が特に重要と考えます。

(ア) 計画の改定

- 行動目標項目，環境目標項目を増やす
- 具体的な取組を進めるために，計画案の審議に多くの関係機関・団体の参加を求める
- 関係機関・団体の役割及び取組の方向性の明確化
- 県，関係機関・団体，企業それぞれが，県民の健康づくりの支援に果たすべき役割と「健康かごしま21」の目標を達成するための取組の方向性を明確にする
- 関係機関・団体との連携方策の明確化
- 県，関係機関・団体，企業の連携協力体制の強化・充実を図るための取組方策を明確にする。
- 県民主体の計画策定
- 県民ニーズの把握と住民の計画策定への参画の働きかけを行う

(イ) 計画の推進

- 計画に基づく住民や関係者の活動の支援
- 関連情報の提供，学習や実践の機会の提供
- 計画の推進及び進行管理体制の強化
- 県民への普及啓発や必要な情報の積極的な提供

(2) 目標達成のための取組状況の評価

分野別に県（保健所を含む。），市町村，健康かごしま21推進協議会の構成団体（以下「健康づくり関連団体」という。）のこれまでの事業・活動の状況について分析を行いました。

ア 県の事業

県の7つの部の15の課で，「健康かごしま21」関連施策・事業を推進しています。

(ア) 栄養・食生活

- 5課で事業を実施しています。
- 団体育成
- ・食生活改善推進員等の地域の人材の育成
- ・保育所，学校等の栄養士や調理師を対象とした研修会の開催
- 普及啓発
- ・交流イベントの開催
- ・料理コンクールや料理教室等の実施

(イ) 身体活動・運動

- 3課で事業を実施しています。
- 団体育成
- ・介護予防指導者研修会や地域リハビリテーション協議会の開催
- 普及啓発
- ・寝たきり予防の事業
- ・プラス千歩運動

(ウ) 休養・こころの健康

- 7課で事業を実施しています。
- 団体育成
- ・児童虐待等に関する研修会や心のケアに関する学校関係者等の協議会の開催
- ・温泉利用指導者や温泉を活用した健康づくり指導者の育成
- 普及啓発
- ・ピアカウンセリング

- ・心の健康づくり県民大会の開催
- ・奄美群島におけるタラソや島唄・島踊りの癒し効果の検証

(エ) たばこ

5課で事業を実施しています。

- 団体育成
- ・関係機関・団体の受動喫煙防止対策の現状把握
- ・学校関係者への指導
- 普及啓発
- ・未成年者に関する指導や研修会の開催，広報

(オ) アルコール

5課で事業を実施しています。

- 団体育成
- ・妊婦・未成年者への飲酒防止の啓発
- ・学校関係者への指導
- 普及啓発
- ・街頭キャンペーンの実施や研修会の開催

(カ) 歯の健康

2課で事業を実施しています。

- 団体育成
- ・8020推進協議会等の歯科に関する協議会の開催
- ・8020運動推進員や関係団体の育成
- ・学校関係者への講習会
- 普及啓発
- ・個別の相談・指導事業の実施
- ・パンフレットやポスター等による普及啓発

(キ) 糖尿病

1課で事業を実施しています。

- 団体育成
- ・市町村の実施する個別健康教育への支援
- 普及啓発
- ・国保ヘルスアップモデル事業や特別保健指導事業などによる生活習慣病予防

(ク) 循環器

2課で事業を実施しています。

- 団体育成
- ・市町村のモデル事業の実施
- 普及啓発
- ・国保ヘルスアップモデル事業や特別保健指導事業などによる生活習慣病予防

(ケ) がん

1課で事業を実施しています。

- 団体育成
- ・がん患者の実態把握によるがんの罹患率，生存率等についての解析，評価
- ・関係団体への情報提供

イ 市町村の事業活動

(ア) 健康増進計画の策定状況

住民の健康増進に関する基本的な施策についての基本計画である「健康増進計画」を策定済みの市町村は、平成18年3月末現在49市町村のうちの17市町です。32市町村が未策定であり、そのうち13市町村が予算不足、9市町村が同種の計画策定で業務多忙、8市町村が合併後間もなく体制が未整備であることをその理由としています。

新規策定市町村数

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	未定
市町村数	1	3	4	2	1	6	7	3	1	21

注：18年度以降は予定

- 1 計画策定のメリット（平17までに策定済み17市町村を対象 複数回答）

	関係団体等の健康づくりの取組が活性化	庁内の認識が高まり、連携が図られるようになった	住民の健康づくりに対する意識が高まった	健康づくり施策が重要施策に位置付けられ、予算措置や人員配置が行われた	住民の健康や国民健康保険料等に関するデータが改善した	特にな
市町村数	9	8	8	4	0	3

- 2 計画内容の課題（-1と同様 複数回答）

	関係者間の具体的な役割分担や連携方策が明示されていない	目標達成のための具体的な施策、事業内容が明示されていない	他の事業計画との調整がなされていない	目標値の設定が現状と乖離	特にな
市町村数	10	4	3	0	4

- 3 計画推進の阻害要因・課題（-1と同様 複数回答）

	予算措置や人員配置	関係機関・団体との連携・協力	庁内の理解	専門的知識や情報収集量の不足	住民の意識
市町村数	13	7	6	4	4

未策定市町村の未策定の理由（平17までに未策定の32市町村を対象 複数回答）

	予算不足	同種の計画策定で業務多忙	合併後間もなく体制が未整備	合併を控えている	策定の基礎となる統計データがない	どのように策定したらよいかわからない	その他
市町村数	13	9	8	5	5	4	3

計画策定・推進に最も必要な事項（全市町村対象 一つ選択）

未回答2市町村

	人材の確保	基礎となる統計データの整備	策定の手法	予算の確保	県からの技術的支援	関係機関との連携
市町村数	17	10	9	7	0	4

事業実施に当たっての連携先（全市町村対象 複数回答）

未回答1市町村

連携先	保健所	医師会	学校保健関係者	歯科医師会	住民団体	運動関係事業者	薬剤師会	商工会・商工会議所
市町村数	43	39	37	36	33	22	20	18
連携先	国保連合会	栄養士会	歯科衛生士会	保健関係事業者	事業主	NPO	看護協会	マスメディア
市町村数	18	14	14	12	9	9	8	6
連携先	社会保険事務局	食品衛生協会	警察	健康保険組合	労働局	その他（医療機関）	その他（農協、社協）	その他（在宅の専門職）
市町村数	4	3	2	2	1	2	1	1

(イ) 事業活動状況

49市町村（平成18年7月現在）において、「健康かごしま21」に関連して実施している事業について、領域別に取りまとめました（資料編「市町村の分野別健康づくり

事業実施状況総括表」)

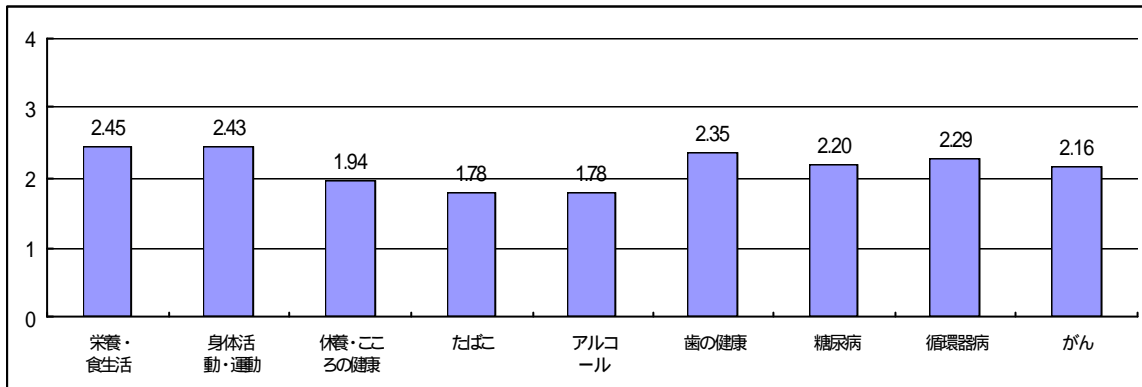
(ウ) 事業活動の評価

市町村が、領域別、評価項目別に事業活動内容を4段階で自主評価しました。

領域別事業活動評価

市町村において、「健康かごしま21」の9つの領域で最も活動しているのは、「栄養・食生活」の領域であり、次いで「身体活動・運動」、「歯の健康」の順です。

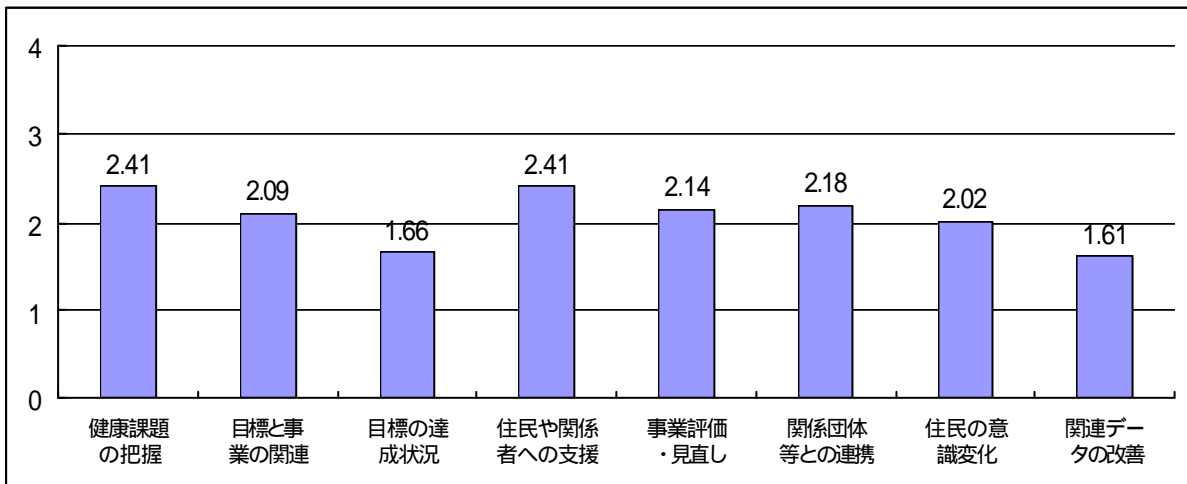
図6 市町村の領域別健康づくり事業活動評価



評価項目別事業活動評価

市町村において、「健康かごしま21」に関連して実施している事業について、「健康課題の把握」「目標と事業の関連」等8つの項目について自己評価をしたところ、最も点数が高かったのは、「健康課題の把握」と「住民や関係者への支援」であり、次いで「関係機関・団体等との連携」でした。

図7 市町村の評価項目別健康づくり事業活動評価



ウ 健康づくり関連団体

(ア) 事業活動状況

「健康かごしま21推進協議会」の構成機関・団体等（健康づくり関連団体）における県民の健康づくり関連事業活動について、領域別に取りまとめました（資料編「健康づくり関係団体の分野別健康づくり事業活動状況総括表」）

食生活・栄養

栄養士会、食生活改善推進員連絡協議会、生活研究グループは、イベントや講演会・講習会等を通じて、或いは日常の普及活動を通じて、県民の食習慣の改善や食育の

普及を行っています。また、研修会等により会員の育成に努めるとともに、食育の普及、社員食堂における栄養管理なども行っています。

身体活動・運動

体育協会や大学は、その専門性を活かし、市民の運動による健康づくりの支援を行っています。

また、放送関係団体は、マスメディアを活用した運動の普及を行っています。

休養・こころの健康

主に大学で、相談室の開設、公開講座の実施、新入生に対する精神面の健康診査等を行っています。

たばこ

医師会は、「鹿児島県医師会禁煙推進宣言」を行っており、県民を対象とした研修会を開催しております。

薬剤師会は認定禁煙指導薬剤師の養成や禁煙サポート薬局の認定の取組を行っています。

経済団体では会員に受動喫煙対策として、分煙の取組を促進するとともに、会員を対象とした講演会、禁煙対策等も行っています。

その他、大学でも、禁煙教室の開催や喫煙場所の指定による分煙対策を推進しています。

歯の健康

歯科医師会を中心に、8020運動の推進等、歯の健康増進のためのポスターや標語コンクールやイベント等の各種取組を実施しています。

また、8020運動推進員も、住民への声かけや、イベント等での普及活動を行っています。

生活習慣病対策

保健医療関係団体、食生活関係団体、農協等において、生活習慣病予防に関する講座等の開催やリーフレット等による普及啓発を実施しています。

健康診査受診率の向上

各団体においては県民又は職員（社員）の検診率に向上に努めており、早期発見・早期治療に成果を上げています。

（イ）課題

団体間の連携の強化

健康関連グループでは「健康かごしま21」の推進を行ってまいりましたが、団体間の連携をより一層図ることにより、効果的な健康づくりの推進を行う必要があります。

関係機関・団体の役割の明確化

それぞれの関係団体が、県民が健康づくりに対する意識を高めるための普及啓発や健康づくりに必要な情報・環境の提供について、役割を果たす必要があります。

（3）目標値の達成状況の評価

112指標の目標値のうち、今回現状値が把握できた106指標について達成度を評価したところ、すでに平成22年度の目標値を達成したものが6指標（5.7%）あり、その他一定以上の改善が認められたものが20指標ありました。2つを合わせると全体の24.6%となっています。さらに、計画策定時から改善幅が小さいものの改善している54指標（50.9%）と合わせると、75.5%の指標で改善がみられました。

なお、悪化している指標は26指標（24.5%）でした。

ア 領域別目標値達成状況

領 域	指標数	今回評価した 指標数	達 成 状 況			
						×
栄養・食生活	26	26 (100%)	1 (3.9%)	3 (11.5%)	13 (50.0%)	9 (34.6%)
身体活動・運動	13	13 (100%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	3 (23.1%)	5 (38.4%)
休養・こころの 健康	5	5 (100%)			3 (60.0%)	2 (40.0%)
たばこ	24	24 (100%)		8 (33.3%)	16 (66.7%)	
アルコール	10	10 (100%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	3 (30.0%)
歯の健康	15	11 (100%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	7 (63.6%)	1 (9.1%)
糖尿病	7	7 (100%)			4 (57.1%)	3 (42.9%)
循環器病	6	4 (100%)			2 (50.0%)	2 (50.0%)
が ん	6	6 (100%)		3 (50.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)
合 計	112	106 (100%)	6 (5.7%)	20 (18.9%)	54 (50.9%)	26 (24.5%)

は、再掲の指標を除く。

【参 考】

領 域	指標数	今回評価した 指標数	達 成 状 況			
						×
国(健康日本21) *	111	58 (100%)	3 (5.2%)	5 (8.6%)	24 (41.4%)	26 (44.8%)

*は、平成17年5月末現在の数値(暫定直近実績値等)

【達成度の定義】

- ：既に目標値を達成した指標
- ：「(計画策定時+目標値)/2」以上の伸びを示している指標
目標設定の性格上目標値を100%又は0%に設定していることから、の伸びは実際上困難であったもののうち、一定以上の伸びを示している指標
- ：改善しているが、「(計画策定時+目標値)/2」未満である指標(「」のを除く)
- ×：悪化している指標

現状値の根拠となる調査(平成17年度実施)

- ・ 県民の生活習慣実態調査
- ・ 栄養調査
- ・ 歯科保健実態調査(成人, 3歳児, 1歳6か月児)
- ・ 生徒の生活習慣調査(高校1・3年生, 中学1・3年生)
- ・ 喫煙対策状況調査
- ・ ヘルシーメニューの提供に関する調査

イ 指標群別目標値達成状況

目標値をヘルスプロモーションの理念である「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」という考え方にに基づき、次の3つの指標群に分類し、その達成状況を評価しました。

その結果、既に目標達成された指標及び順調な改善がみられる指標が占める割合は、「健康指標」では38.5%、「行動指標」では19.3%、「環境指標」では40.0%で、特に「行動指標」について、目標の達成度が低くなっています。

【指標群の定義】

健康指標	取組の結果得られる目指すべき健康・保健水準の指標
行動指標	県民自ら取り組む指標
環境指標	行政機関，医療機関，保健医療機関，教育関係者，マスメディア，企業，ボランティア団体等の健康に係わる様々な関係者が県民の健康づくりを支援する取組指標

3つの指標の考え方（関係性） - 適正体重を例に考えた場合

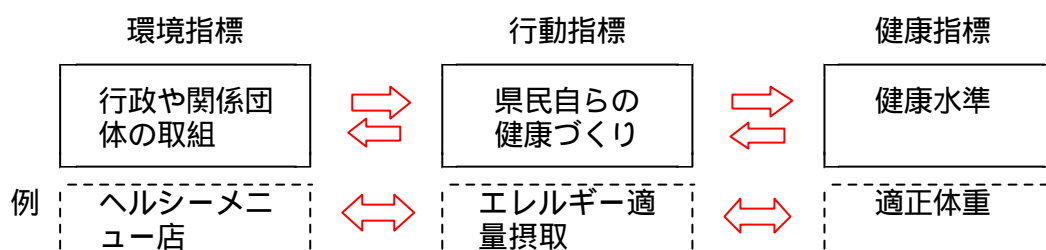


図8 指標群別目標達成状況

